

岡崎嘉平太記念館



だより

Vol. 3

2005.6

岡崎嘉平太氏遺墨



再建を果たし、社長として経営にあたっていた、池貝鉄工株式会社に掲げられていた書

(井上義博氏寄贈)

岡崎嘉平太記念館に展示

窮せざれば通ぜず…人間はいつも平穏な環境の中ばかりにいるものではない。時には逆境にさらされ、困難に出会う。困難に遭遇して怒る人、なげ出す人、それを突破することに喜びを感じる人と、いろいろの型がある。私の乏しい経験からすると、困難にあつてへこたれない方法は、自分を客観視することである。人生はよく山登りにたとえられるが、山登りをしていて頂上近くに達すると非常に苦しい。そのとき私は目をつぶって、大きなリュックを背負っている自分の姿を想像する。そして“岡崎もう少しだ、がんばれ!! お前はそんなことでへこたれる男ではないぞ”と自分に言い聞かせるのである。世の中には「窮すれば通ず」という言葉があるが、私は「窮せざれば通ぜず」と思っている。困難にぶつかっていき詰まらなければ、打開の道は開けてこない。私の体験から感じたことであるが、それだいたいがい困難にであつてもへこたれないですむ。

私が一九四九年に池貝鉄鋼に入ったときは、労働運動が盛んで、毎日のように組合の代表者がきてお盆手当の支給を要求した。池貝にはそんな金はない。やむをえず種々奔走した結果、なんとか金の手当をし、それが契機となって池貝の再建が軌道に乗ったのである。当時はなにか偶然によってうまくいったようにも見たが、やはり困難に積極的になぶつかってゆくことよって道が開けたのではないかと思う。困難が人間を鍛錬してくれる。我々は困難に堪えて、はじめてむずかしいことを解決していけるだけの能力と自信が身につくのだ、と考えている。

岡崎嘉平太氏著『私の記録』(昭和五十四年三月二十日発行)より

最近の出来事

■ 岡崎嘉平太国際奨学財団14期・15期奨学生の訪問



墓参



大和山頂で桜の記念植樹



岡崎嘉平太氏は、中国をはじめとするアジア諸国の人づくりへの支援を通じ、民族間の相互理解に、ひいては世界の友好と平和を唱えていました。

岡崎氏の遺産を基金として設立された、岡崎嘉平太国際奨学財団では、アジアの各国から、日本の大学で学ぶことを希望する優秀な学生を招聘し、奨学金の支給等の支援を行っています。

その奨学生が、開館以来毎年、岡崎嘉平太記念館を訪れています。今年も、5月25日(水)に、中国4名、タイ1名、ベトナム1名、インドネシア1名、ミャンマー1名の奨学生と、事務局員が来館しました。

記念館を見学し、光岡館長から岡崎氏の思想や功績等についての説明を受けました。

また、岡崎家の墓参、地元の方々の協力で、四回目を迎えた大和山頂での桜の記念植樹、大和小学校の岡崎文庫などの岡崎氏ゆかりの地を訪れました。



妙本寺見学



妙仙寺見学



大和小学校 岡崎文庫見学

■ 中国青年代表団の訪問



館内を見学

6月3日(金)に岡山県青年館の国際交流事業の一つとして、JICA(国際協力機構)の青年招聘事業で招かれた、中国青年(教育関係)代表団24名が来館しました。

青年たちは、岡崎嘉平太氏が若い頃から、日中友好に尽力されたことを知り、特に戦時下や両国が緊張状態にあった困難なときも、将来への展望を失うことなく、互いの友好を願って努力されたことに強く感銘を受け、若い自分たちがお互いに友好を深めていく努力をしたい、と話していました。

「ビデオ視聴・図書閲覧コーナー」設置



記念館入口に、中国関係の映画など(岡崎彬氏寄贈)のビデオ視聴と、東西思想融合のための図書(籠井昌義氏寄贈)の閲覧コーナーを設置しました。

ご希望の方は、ゆっくりご覧ください。

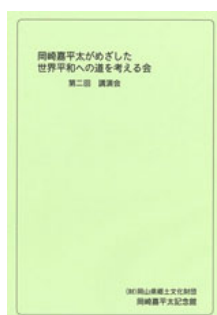


図書の一部

新しい頒布物のご案内

講演記録「岡崎嘉平太がめざした 世界平和への道を考える会 第三回講演会」

A5版 41ページ 価格200円



平成16年10月30日に開催した講演会の記録。

講師に、日中覚書貿易「LT貿易」の中国側スタッフとして要人の通訳等をつとめ、岡崎氏とご親交のあった、元国家対外経済貿易部アジア局日本処長 何連涛氏、並びに同氏夫人、中国大使館商務部一等書記官 畢斌氏を迎えました。岡崎氏との思い出や、日中両国繁栄への願いなどを中心に述べています。

「紀要 第二号 岡崎嘉平太 講演集2」

A5版 131ページ 価格300円



岡崎嘉平太氏の講演記録を、所蔵資料を中心に調査・研究し、講演内容別に講演集として発行しています。

第二集目にあたる本書は、岡崎氏の日中関係に対する基本的姿勢がうかがえ、また、日中覚書貿易「LT貿易」の実際や、当時の時代背景がうかがえる内容の講演を選出し、「私の中国観」「日中貿易について」「日中関係の今後」「中国問題を考えるー中国人を尊敬する気持を取戻せー」を収録しています。

なお、岡崎氏の人生観がうかがえる内容の講演を選出・編集した、「紀要 第一号 岡崎嘉平太 講演集1」につきましても、若干の残部がありますので、あわせてお読みください。

こどものひろば

おかざきかへいたきねんかん

岡崎嘉平太記念館ものしりトピックス ～奨学生との交流から～

アジアのいろいろな国から日本の大学院に勉強に来ている若い人達が、
岡崎嘉平太さんのことを勉強するために、記念館へ来ました。

中国から筑波大学に日本文学などの勉強に来ている黄さんは「岡崎先生が若い
ときから日中友好の考えを持ち、尽くされたことに感動した。私たち若者も行動
していきたい。」と話していました。ミャンマーから大阪大学に数学の勉強に
来ているシーシーさんは、ミャンマーの学校で
勉強した「かきこじぞう」の物語が大好きだ
と話してくれました。タイから京都大学に
経済学の勉強に来ているオラワンさんは、将来
は貿易の仕事をしたいそうです。

とても礼儀正しく、素敵な人たちでした。



岡崎嘉平太さんについて勉強

きねんかん しごと 記念館の仕事



岡崎嘉平太記念館事務室では、小野有貴さんが事務の
仕事をしています。

仕事の内容は、会計に関わることや書類のまとめと、
電話や窓口での対応などです。記念館に来て
くれた皆さんと話しをしたり、嘉平太さんの立派な行い
や考え方を勉強できる仕事できて楽しいそうです。



編集・発行：岡崎嘉平太記念館

〒716-1241 加賀郡吉備中央町吉川4860-6きびプラザ内

TEL 0866-56-9033 FAX 0866-56-9066

ホームページ <http://www.kibicity.ne.jp/users/okazaki/>

Eメール okmh@kibicity.ne.jp